

第5回 安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議準備委員会 議事要旨

1. 日 時 平成 21 年 1 月 29 日（木） 17:00～18:00
2. 場 所 中央合同庁舎 4 号館 12 階共用 1208 特別会議室
3. 出席者
(委員)
松本委員長、加来委員、熊谷委員、倉津委員、黒田委員、下谷内委員、関委員、高委員、田尻委員、長沢委員（斎藤委員代理）、中村委員、成田委員、早瀬委員、古谷委員、山内委員
(事務局)
佐藤内閣府国民生活局企画課課長補佐、高山内閣府国民生活局企画課課長補佐
(参考人)
田平厚生労働省政策統括官付労働政策担当参事官付参事官補佐、濱坂経済産業省技術環境局基準認証政策課課長補佐
4. 議 題
設立趣意書及び運営規約について
当面の審議方針について
設立総会の開催に向けた確認事項等
5. 会議経過
資料 1、資料 2、資料 3 に基づいて事務局より設立趣意書、運営規約、当面の審議方針について説明した後、質疑応答及び意見交換。
規約内容を一部修正の上、設立趣意書及び運営規約について了承。
事務局より設立総会の開催意に向けた確認事項等を説明した後、質疑応答。
6. 主な意見
委員からの主な意見は、概要以下の通り。
 - ・前文の表現では円卓会議が何をするとところなのか分かりにくいので、もう少し分かりやすく書くべきではないか。
 - ・前文のところで消費者がクローズアップされているが、社会的責任の課題には地域や労働者など幅広い問題がある。各ステークホルダーへの言及のバランスをとりつつ、もう少しマルチステークホルダー・プロセスの意義を強調してもよいのではないか。
 - ・我々ステークホルダーとしては、各省庁でバラバラにやっていたものを内閣府が先頭に立ってまとめようとしている点で大変期待している。そのためにも、設立趣意書の各ステークホルダー間の記述について、もう少しバランスを取ってほしい。
 - ・単に「協働して社会的課題の解決に当たる」との表現だと、あらゆる社会的課題がここに含まれてしまうことになり、円卓会議の位置づけがよくわからなくなる。円卓会議の 2 本柱のである組織の社会的責任の促進と、持続可能な社会作りを通じて、社会的課題の解決を目指すというふう

くべきではないか。

- ・ 円卓会議では政府が他の主体とともに一角を担うということであるが、設立趣意書の「政府の関わり」の記述があまりに引いている感じがする。これでは他のセクターが読んで不安を覚えてしまうので、もう少し突っ込んで書くべきではないか。